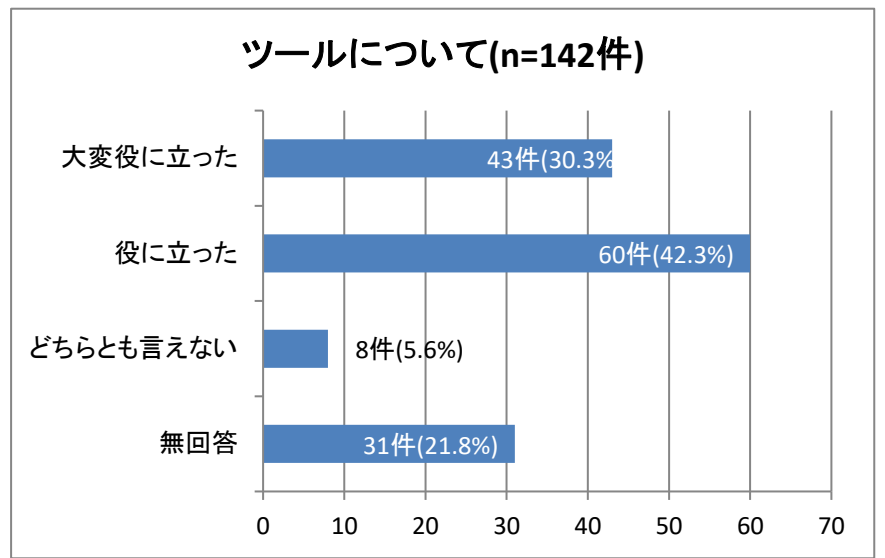
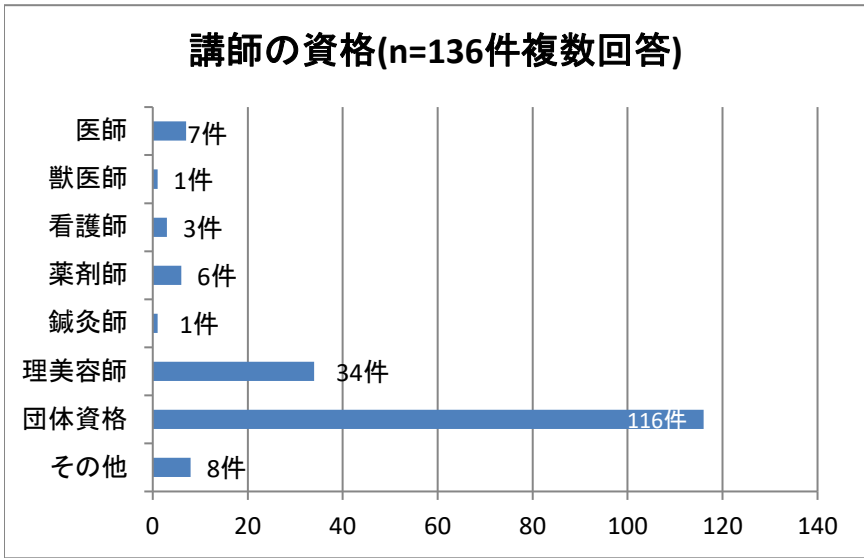
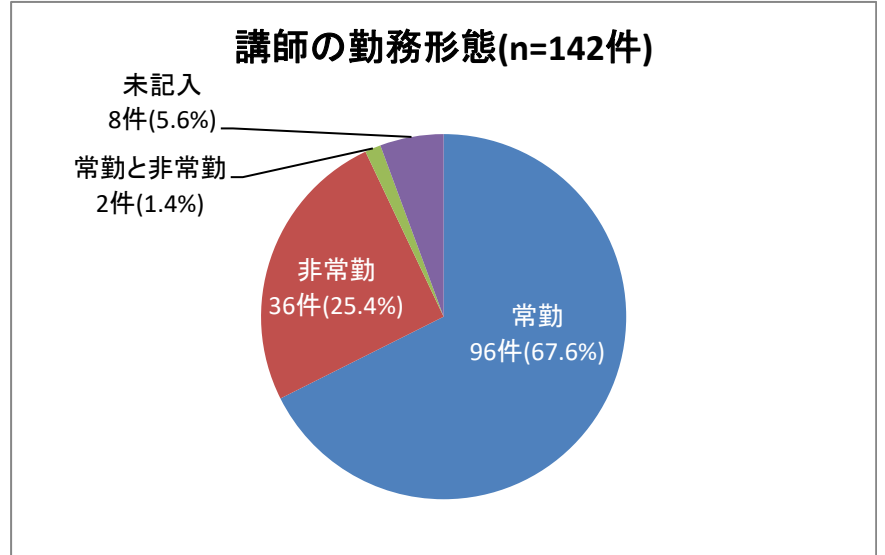
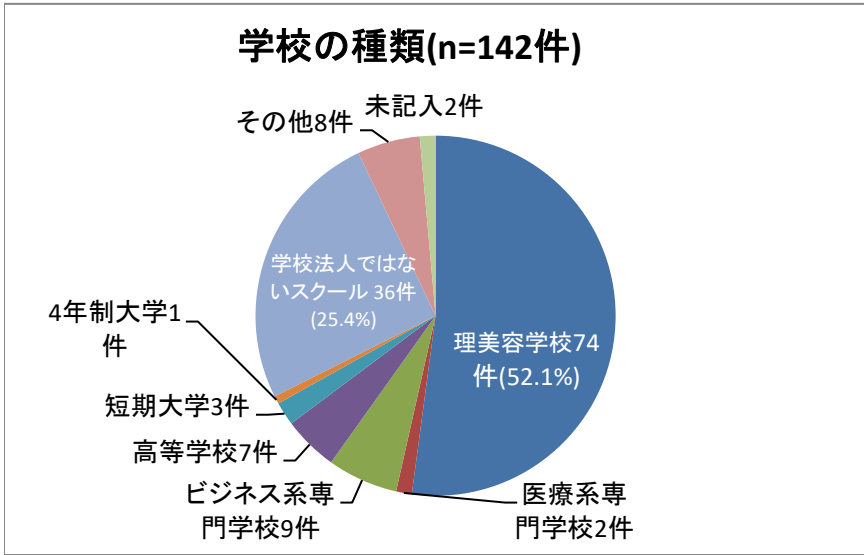


エステティック養成施設講師対象 衛生管理教育に関するアンケート調査結果

回収総数 142件



★ 衛生管理教育の問題点(n=142件)

①手洗いを含めた衛生管理の実践がうまくできているかの判断が難しい。	38	26.8%
②衛生基準については、サロン内での役割別に必要な衛生管理が分かるとよい。例)オーナーに必要なこと＝施設の管理、スタッフに必要なこと＝基本的な衛生消毒 など	36	25.4%
③消毒薬や器材が不足していて衛生管理の実践が正しく行えない。例えば、学校では消毒剤1種類につき、1商品しか使用できない。サロンで別の商品が使われることがある。	32	22.5%
④施術の流れの中での衛生消毒が教えにくい。学校とサロンでは環境や設備が異なりケーススタディが伝わりにくい。	32	22.5%
⑤わかりやすい説明がうまくできずテキストの朗読になってしまう。	19	13.4%
⑥生徒の消毒薬による手荒れに悩んでいる	16	11.3%
⑦理論がサロン現場に即していない。サロンの業務の中で、どの場面でどんな衛生消毒が必要なのか分かりにくい。学校では、別途パワーポイントなどわかりやすい資料を作成している。	16	11.3%
⑧何度説明しても理解されないことがある。例えば、掃除のやり方を知らない生徒に、「きちんと掃除をしましょう」と言っても理解されない。	15	10.6%
⑨技術の講師と座学の講師でうまく連携が取れず内容が違ってしまふ。	8	5.6%
⑩生徒からの質問にうまく答えられないことがある。	7	4.9%
⑪その他 ↓	11	7.7%

実際にサロンでは学校ほど消毒管理が徹底されていない。	手荒れした際の対応
学校で消毒や衛生管理を徹底して教えているが、就職先のサロンで徹底できていない現状に衝撃を受け、失望する学生がいる。	就職後 サロンへ行くと消毒が全く行われていなくて生徒が困っている。
手荒れや肌の弱い生徒さんが増えている。	衛生管理資格を取得する為に丸暗記になってしまう。
各個人が徹底できているかの定期チェックが難しい。	リネン類(綿布類)の消毒までは行っていない。洗濯→乾燥のみ
感染症の症例の理解が難しい。	